保 証 書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

ヘアドライヤー	品 番　YBH12DM
★お客様お名前　　様	
★ご住所　〒　　★電話番号（　　）　－	

保証期間 ★お買上げ日　　年　　月　　日から 本　体 …… 1年間 付属品 …… 対象外	★取扱販売店名, 住所, 電話番号

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
   - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   - ロ. お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
   - ホ. 本書の提示がない場合。
   - ヘ. 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ト. 消耗部品の交換、仕様変更 } 等
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。　Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

●保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、14ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

見本

株式会社ヤマダホールディングス

【ヤマダオリジナル商品サポートセンター】TEL 0120-258-260（無料）

〒370-0841　群馬県高崎市栄町1番1号

受付け時間：午前10時～午後7時（元日のみ休日）

Y11

取扱説明書

ヘアドライヤー
品番 YBH12DM

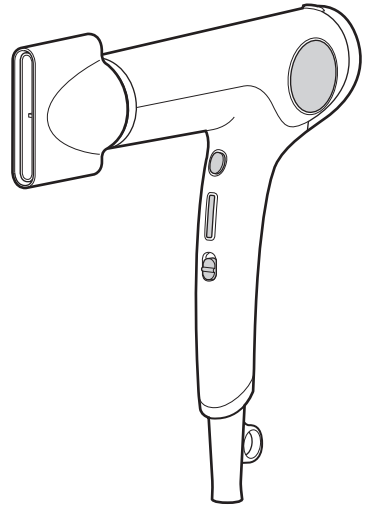
一般家庭用
（業務用としては使用しないでください）

保証書付（裏表紙）

お買上げまことにありがとうございます。

●この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
特に1～4ページの「**安全上のご注意**」を必ずお読みください。

●この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



もくじ

ページ

安全上のご注意 …… 1～4
各部のなまえ …… 5～6
使いかた …… 7～9
お手入れのしかた …… 10～11
故障かな？と思ったら …… 12
仕 様 …… 13
点 検 …… 13
修理サービスについて …… 14
保証書 …… 裏表紙

取扱説明書（保証書付）・本体には商品の色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　）内の記号が色記号です。

安全上のご注意 必ずお守りください

3 ページへつづく

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

●本文中の絵表示の意味です。

禁止 ⃠は、してはいけない「 禁止 」の内容です。	一般的な禁止　分解禁止　接触禁止 水場での使用・保管禁止　水ぬれ禁止　ぬれ手禁止
強制 ❗は、必ず実行していただく「 強制 」の内容です。	必ず行う　電源プラグを抜く

⚠ 警 告

異常・故障時には、ただちに使用を中止する

使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。

＜異常・故障例＞

- 本体が変形したり、異常に熱い。
- 電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。
- 電源コードの一部・電源プラグがいつもより熱い。
- 電源コードや電源プラグを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 異常なニオイや音、振動がする。
- ビリビリと電気を感じる。
- 運転操作をしても動かない。
- 内部が真っ赤になり煙が出る、焦げくさいニオイがする。
- 風が出ない、または風が出たり出なかったりする。

※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」に点検、修理を依頼してください。

ノズルの取り付け・お手入れ・持ち運び・収納の際は、必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。

電源プラグは清潔にする

電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布で拭きとってください。発煙・発火・火災の原因となります。

⚠ 警 告

電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。

使用時以外は必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く

電源プラグを抜く

けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。

電源コード・電源プラグは乱暴に取り扱わない

電源コードまたは、電源プラグを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、はさみ込む、破損させる、重いものをのせる、束ねて使用する、ステップルや釘などで固定する、などをしない。

火災・感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

絶対に改造、分解をしない

分解禁止

改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。

火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込む

さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。

浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しない

水場での使用・保管禁止

絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。

ぬれた手で本体を操作したり、電源プラグを抜きさししない

ぬれ手禁止

ショート・感電・けがの原因となります。

電源コード・電源プラグが傷んだり、熱くなったときやコンセントのさし込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因となります。

持ち運び時、収納時に電源コードを引っ張ったり、製品を引きずらない

電源コードが断線してショート・感電・火災や畳、床面などに傷をつける原因となります。

コードを突っ張った状態で使用しない

コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。

本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れない

感電・けが・故障・破損の原因となります。

子供や不慣れなかただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない

やけど・感電・けがの原因となります。

スプレー(可燃性)などを吹きつけたり、引火性のもの（ガソリン・ベンジン・シンナー）の近くで使用しない

火災・爆発の原因となります。

髪が吸込口に吸い込まれないように注意する

けが・故障の原因となります。

直射日光のあたる場所や発熱器具の近くに置かない

樹脂部分が溶けて発煙・発火・火災の原因となります。

安全上のご注意 必ずお守りください

⚠ 警 告

ストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散により、一酸化中毒・故障・火災の原因となります。

本体に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない

感電・ショート・発火・故障の原因となります。

通電したまま放置しない
火災の原因となります。

可燃性の整髪料などを同時に使用しない
火災や髪焦げ・やけどの原因となります。

吸込口や吹出口をふさがない
感電したり、異常過熱により変形・発火・故障・やけどの原因となります。

使用中は吹出口をのぞき込まない
やけどの原因となります。

電源コードを本体に巻き付けて使用、保管、収納しない
感電・ショートによる発火の原因となります。

電源コードがねじれたままで使用、保管、収納しない
電源コードに負荷がかかり断線し、感電・やけど・ショートによる火災などの原因となります。

風を体に直接あてない
やけどをしたり、体調悪化や健康障害の原因となります。特に、ちいさなお子様やお年寄りには気をつけてください。

電源プラグをなめさせない
乳幼児が誤ってなめないようにご注意ください。感電・けがの原因となります。

スイッチを入れたまま、その場をはなれない
火災・事故の原因となります。

本製品専用の部品以外使用しない
けが・故障の原因となります。

不特定多数の人が使う場所に置かない
連続過負荷による故障の原因となります。

業務用として使用しない
本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。けが・発火の原因となります。

温風で使用中、吹出口に火花が見える場合は使用を中止し、吹出口・吸込口に付着しているホコリを取り除く
やけど・発火・火災の原因となります。

肌や身体に痛み・異常を感じたらすぐに使用を中止する
肌や身体のトラブルの原因となります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、電源プラグを持ってまっすぐ引き抜く

感電・ショート・発火・火災の原因となります。

噴出口や吸込口にホコリなどが付着している場合は取り除く、また定期的に掃除する
ホコリなどが付着したまま使用すると、発熱・発火・故障の原因となります。

⚠ 注 意

人の毛髪の乾燥や整髪以外の使用、乳幼児への使用はしない
やけど・火災・故障の原因となります。特に靴などの乾燥で使用されると機械全体が熱により変形するおそれがあります。

ドライヤーをあてるときは、同じ場所へあてすぎず下記の距離を守り、髪が吹出口や吸込口に吸い込まれないように注意する
- ●吹出口と髪は3cm以上離す
- ●吸込口と髪は10cm以上離す

吹出口や吸込口を髪に近づけすぎたり、同じ場所へあてすぎると、髪が焦げたり髪が絡んで髪を傷める原因となります。

お手入れにはアルコール・シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない
印刷内容が消えたり、製品の変質や劣化による故障・破損・けがや事故の原因となる場合があります。お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。

※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック（樹脂）に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認のうえご使用ください。プラスチック（樹脂）に使用可能な洗剤でも、洗剤分が残っていると、化学作用によりプラスチック（樹脂）を侵し、破損してけがや事故の原因となる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかり拭きとってください。

落としたり、ぶつけたり、強い衝撃をあたえない
故障・火災・感電の原因となります。

吸込口が破損したまま使用しない
髪が吸込口に絡み髪を傷める原因となります。

必ず吸込口カバーを取り付けて使用する
発煙・発火の原因となります。

使用するときは、ハンドルを持って使用する
やけどの原因となります。

お手入れを行うときは、必ず電源プラグを抜き、冷えてから行う
高温部に触れると、やけど・けがの原因となります。

コンセントの周りは清潔にする
絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。

テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない
電波障害の原因となります。

海外では使用しない(国内専用)
やけど・発火・故障の原因となります。

使用中や使用後しばらくは、吹出口やノズルが高温になっているので、触れない

やけどの原因となります。

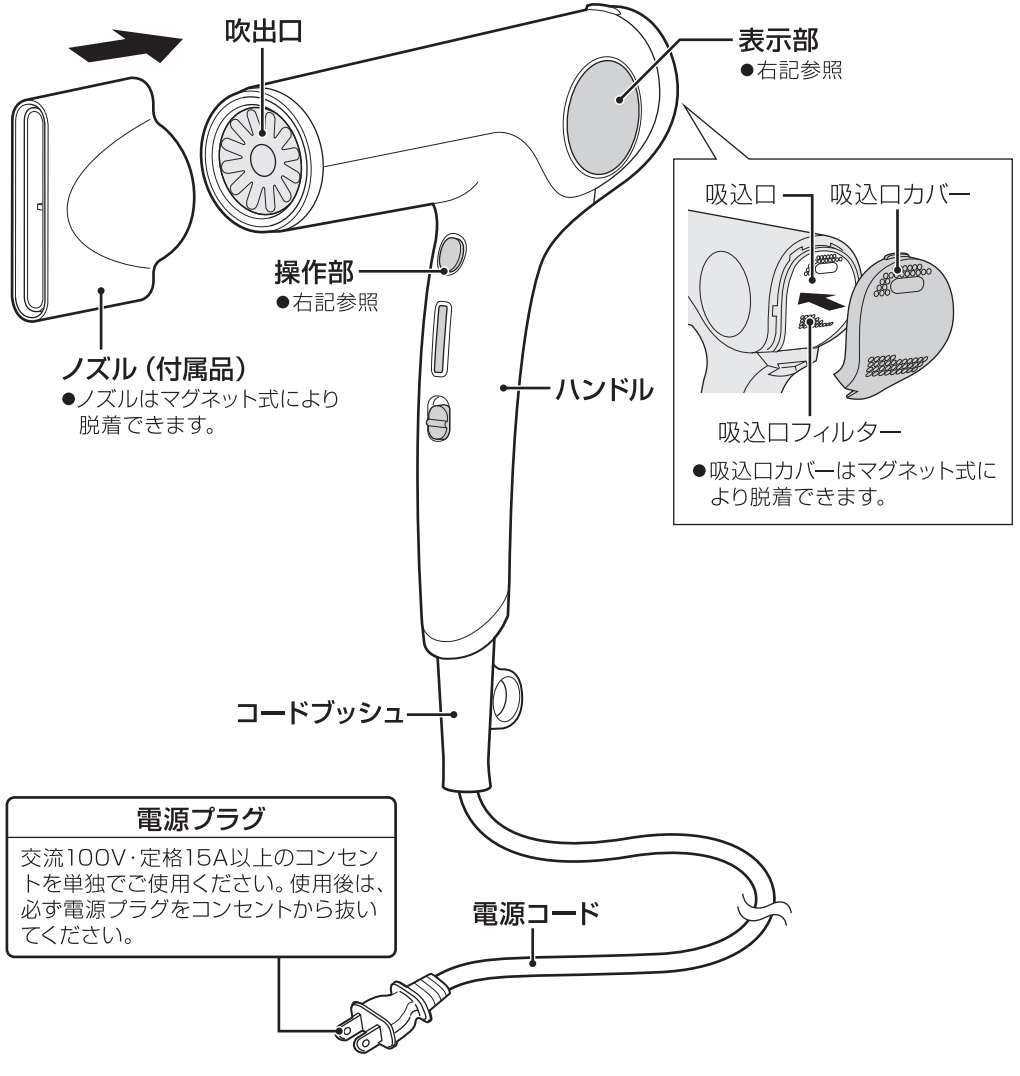
電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。

各部のなまえ

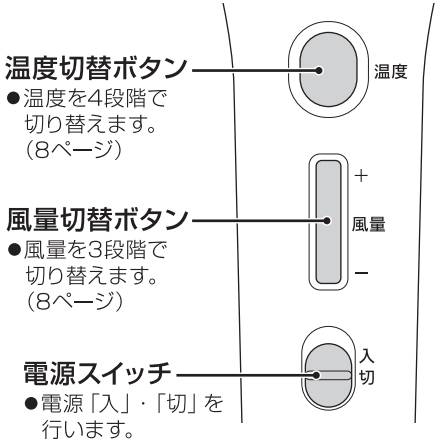
本 体

ご注意

- 吹出口と髪は3cm以上離してください。
- 吸込口に髪が吸い込まれないよう10cm以上離してください。
- 使用中は吹出口をのぞき込まないでください。



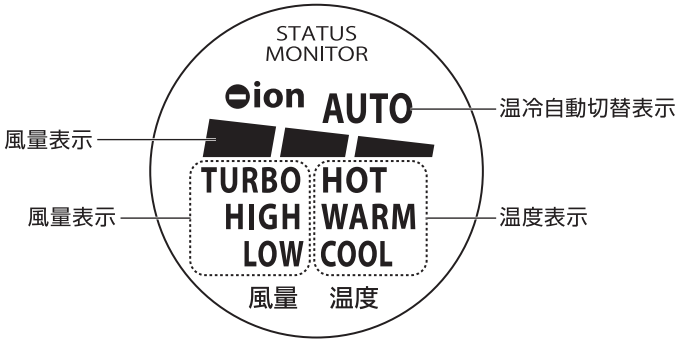
操作部



表示部

※説明のため、すべて表示させています。

- 運転中の風量・温度が表示されます。



お願い

- 印刷部はアルコールで拭かないでください。印刷が消えるおそれがあります。

使いかた

9 ページへつづく

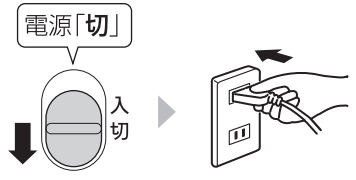
運転を開始／停止する

ご注意

- 電源コードの結束バンドは必ず外してください。
- 電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使用し、電源プラグはコンセントの根元までしっかりさし込んでください。

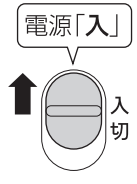
1 電源プラグをコンセントに確実にさし込む

- 電源プラグをコンセントにさし込むときは、電源「**切**」の状態でさし込んでください。



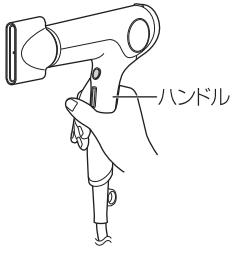
2 電源スイッチを「入」に切り替える

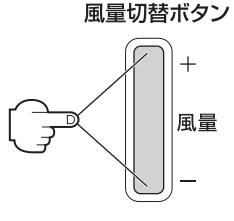
- 風量「LOW」・温度「WARM」で運転を開始します。



3 風量・温度を設定し、ドライヤーをあてる

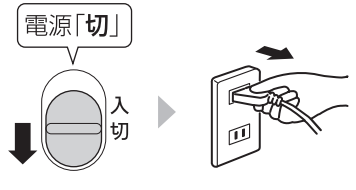
- ハンドルをしっかり持ってあててください。
- お好みで「風量」・「温度」を設定してください。設定のしかたは、8ページをご参照ください。
- ドライヤーの効果的な使いかたは、9ページをご参照ください。





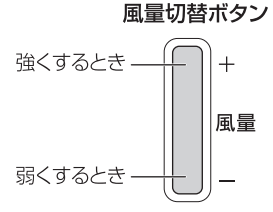
4 使用後は、電源スイッチを「切」に切り替え、電源プラグをコンセントから抜く

※使用中や使用後しばらくは、吹出口やノズルが高温になっているので、触れないでください。



風量を設定する

- 風量切替ボタンを押して風量を設定してください。風量は「**TURBO**」・「**HIGH**」・「**LOW**」の3段階切り替えです。



※「温度：HOT」の場合

TURBO	HIGH	LOW
風量「大」でしっかりと素早く乾かすとき	風量「中」でゆっくり、じっくりと乾かすとき	風量「小」でやさしく乾かすとき

温度を設定する

- 温度切替ボタンを押して温度を設定してください。温度は「**WARM**（中温風）」・「**HOT**（高温風）」・「**AUTO**（温冷自動切替）」・「**COOL**（冷風）」の4段階切り替えです。
- 押すたびに、「**WARM**」➡「**HOT**」➡「**AUTO**」➡「**COOL**」➡「**WARM**」…と切り替わります。

押すたびに温度が切り替わります。

※「風量：TURBO」の場合

WARM（中温風）	点灯	●中温風で運転します。 ●地肌をいたわりながら乾かすことができます。 ●髪がある程度乾いてからのご使用をおすすめします。
HOT（高温風）	点灯	●高温風で運転します。 ●ぬれた髪をしっかりと乾かします。 ●タオルで髪の水分を軽く拭きとってからあててください。
AUTO HOT◀▶COOL （温冷自動切替）	点灯 交互に点灯	●高温風と冷風を自動で切り替えながら運転します。
COOL（冷風）	点灯	●冷風で運転します。 ●仕上げにあてることで、セットを長持ちさせることができます。

マイナスイオン表示

- マイナスイオンを放出しながら運転します。

ご注意

- **次の人にはマイナスイオンの効果が現れにくいことがあります。**
  - 縮毛の人　• くせ毛が強い人　• 髪質が細く柔らかい人
  - 髪の毛が短い人　• 縮毛矯正パーマをあてて間もない人

マイナスイオン表示

使いかた

効果的な使いかた

髪と地肌にやさしく上手にお使いいただくために、下記をご参考ください。

■ご使用前に

- 髪を洗ったあとは、乾いたタオルで水分をよく拭きとりましょう。
- 髪が乾いているときは、蒸しタオルやセットローションなどで適度な湿り気を与えましょう。セットがしやすく、セットのもちがよくなります。

■乾燥するときは

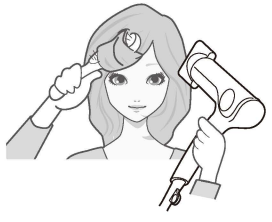
- 風量を「TURBO」・温度を「HOT」に設定し、素早く乾燥しましょう。
- 手やブラシでほぐしながら、毛の根元まで温風がゆきわたるように乾燥させてください。

■AUTOモードの上手な使いかた

- 高温風と冷風を約5秒間隔で切替えながら運転します。髪がある程度乾燥してから、AUTOモードに切替えると温度を抑えているので、髪のダメージが気になるときに適しています。

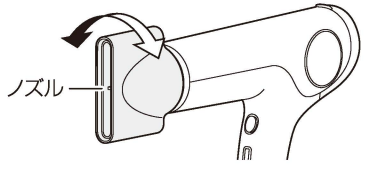
■セットするときは

- お好みの風量や温度に設定し、ブラシで整えながらていねいにセットしてください。

ボリューム	分け目づけ	カール
毛の根元から毛先に向けてブラシを動かしながら温風をあててください。	ブラシで髪を押さえ、根元の方へもどしながら温風をあててください。	毛束を分けてとり、ブローブラシを内側に入れて、ゆっくり弧を描くようにブローブラシを内側に回し、温風をあててください。
		

ノズルについて

- 髪をしっかりセットしたいときや、ポイントをしぼってあてるときにご使用ください。
- ノズルはマグネット式により脱着できます。
- ノズルを回転させて風があたる位置を変えてください。



ご注意

- **使用中や使用後しばらくは、吹出口やノズルが高温になっていますので、十分冷えてから脱着してください。**

お手入れのしかた

11 ページへつづく

お手入れを行うときは必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

⚠ 警告

- **本体に水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしないでください。**
  感電・ショート・発火・故障の原因となります。
- **本体のすき間にピンや針金などの金属物、異物を入れないでください。**
  感電・けが・故障・破損の原因となります。

⚠注意

- **お手入れを行うときは必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから行ってください。**
  高温部に触れると、やけど・けがの原因となります。
- **お手入れにはアルコール・シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しないでください。**
  印刷内容が消えたり、製品の変質や劣化による故障・破損・けがや事故の原因となる場合があります。
  お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。

ご注意

- **お手入れは定期的に行ってください。吹出口や吸込口にホコリなどが付着していると、発熱・発火・故障の原因となります。**
- **お手入れ後は吹出口からホコリなどが飛び散る場合がありますので、飛ばなくなったことを確認してからご使用ください。**

本体表面・ノズル

- 乾いた布で拭くか、水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、ぬるま湯または水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭きとってください。

※本体に整髪料や化粧品が付着したまま放置しないでください。プラスチック部分の劣化・割れ・変色などの原因となります。

電源プラグ

- 電源プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は乾いた布で拭きとってください。

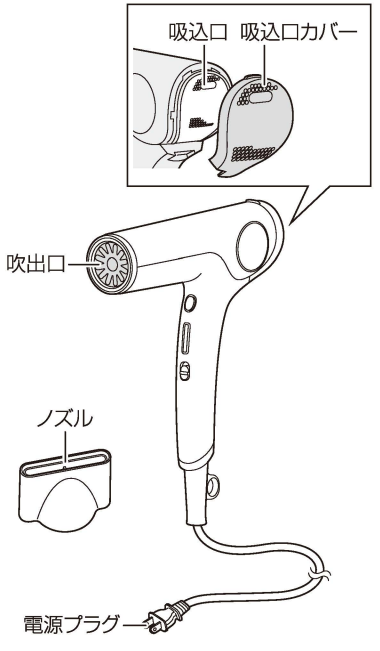
吸込口・吸込口カバー

- 吸込口カバーを取り外し、付着したホコリや髪の毛などをティッシュや歯ブラシなどで取り除いてください。

※吸込口カバーはマグネット式により脱着できます。

- ホコリが内部に付着している場合は、掃除機で吸いとってください。

※使用するときは、必ず吸込口カバーを取り付けてください。



お手入れのしかた

吹出口

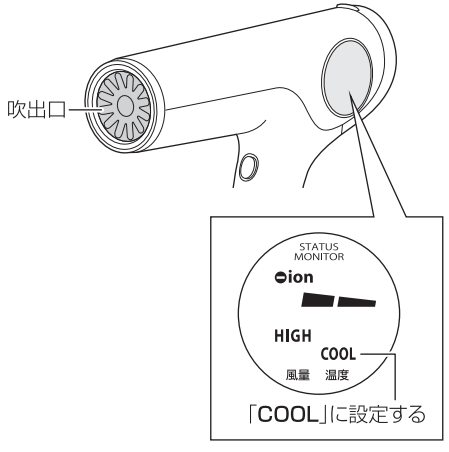
- ノズルを取り外し、付着したホコリを取り除いてください。
- ホコリが内部に付着している場合は、下記手順に従ってお手入れを行ってください。

■ホコリの取り除きかた

1 電源プラグをコンセントにさし込む

2 電源スイッチを「入」に切り替え、
温度を「COOL」に設定する
※「HOT」または「WARM」に設定しないでください。やけどの原因となります。

3 吹出口に付着したホコリなどを風で吹き飛ばす
・風量を切り替えながら吹き飛ばしてください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

症　状	確認してください	処置の方法	参照ページ
電源を入れても運転しない	電源プラグはコンセントに確実にさし込まれていますか?	電源プラグをコンセントに確実にさし込んでください。	7
	電源スイッチが「切」になっていませんか?	電源スイッチを「入」に切り替えてください。	7
	ブレーカーが「切」になっていませんか?	ブレーカーを「入」に切り替えてください。	–
吹出口の奥から火花が見えたり、吹出口内部が赤くなる	吹出口や吸込口にホコリが付着していませんか?	お手入れを行ってください。	10・11
	吹出口や吸込口をふさいでいませんか?	吹出口や吸込口をふさがないでください。	–
温風が異常に熱い	吹出口や吸込口にホコリが付着していませんか?	お手入れを行ってください。	10・11
	吹出口や吸込口をふさいでいませんか?	吹出口や吸込口をふさがないでください。	–
電源プラグやコードが異常に熱い	電源プラグをコンセントの奥までさし込んでいますか?	電源プラグをコンセントの奥まで確実にさし込んでください。	7
	コンセント部がゆるくなっていませんか?	ゆるくないコンセントを使用してください。	–
温風になったり、冷風になったりする	温冷自動切替運転(「AUTO」表示)をしていませんか?	温冷自動切替運転は、約5秒間隔で温風･冷風を自動で切り替えて運転します。	8
温風の温度が低い	温度が「WARM」または「COOL」になっていませんか?	温度を「HOT」に切り替えてください。	8
塗料のニオイがする	使いはじめたばかりではありませんか?	ご使用とともに少なくなります。	–
特有のニオイがする	マイナスイオン使用中に微量のオゾンが発生しているためで、人体に害はありません。		8

点検後、異常がある場合は、ご自分で修理しないでお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。詳しくは、14ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

仕 様

品番	YBH12DM
電源	交流 100V　50/60 Hz
消費電力	1300 W（TURBO／HOT時）
温風温度	約 72 ℃（TURBO／HOT時）
安全装置	サーモスタット、温度ヒューズ、電流ヒューズ
コードの長さ	約 1.8 m
質量	約 530 g（本体のみ）
付属品	ノズル（1個）

- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外ではご使用になれません。FOR USE IN JAPAN ONLY

点 検　長年ご使用のヘアドライヤーの点検を！

こんな症状はありませんか	●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コードや電源プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い。 ●電源プラグや電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なニオイや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。 ●運転操作をしても動かない。 ●内部が赤くなったり、焦げくさいニオイがする。	こんなときは	**使用を中止してください。** 故障や事故防止のため、電源プラグを抜いて、必ずお買上げの販売店に点検をご相談ください。
こんなことはありませんか	電源プラグにホコリやゴミが溜まっている。	→	**ホコリやゴミを取り除いてください。**

修理サービスについて

（1）保証書

- この製品には、保証書がついています。
  保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。
  保証期間は、お買上げ日より本体 1 年間です。

（2）修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
  内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
  保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となることがあります。
- 保証期間が過ぎているときは
  お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にご相談ください。
  修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

（3）補修用性能部品の保有期間

本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後5年です。

（4）ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちにご使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。

- お客様ご自身での分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

（5）修理サービスについてご不明な場合

修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

- ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、株式会社ヤマダホールディングス「ヤマダオリジナル商品サポートセンター」にお問い合わせください。

株式会社ヤマダホールディングス

ヤマダオリジナル商品サポートセンターや保証書におけるお客様の個人情報のお取扱いについて

- ヤマダオリジナル商品サポートセンターでお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報は、商品、サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために株式会社ヤマダホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマダホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。